

各 位

会 社 名 : 株式会社夢真ホールディングス
 (コード : 2362 JASDAQ)
 代 表 者 名 : 代表取締役社長 佐藤 大央
 問 い 合 せ 先 : 執行役管理本部長 清水 義典
 (T E L : 03-3210-1212)

2016年9月期 第1四半期 連結決算概況について

1. ハイライト

- ① 売上高 19 四半期連続 2 ケタ増収
- ② 建築技術者派遣およびエンジニア派遣事業で採用人数が堅調に推移
- ③ 建築技術者派遣の売上総利益率は順調に回復

2. 経営成績

① 連結

(百万円)

	2015年9月期 第1四半期	2016年9月期 第1四半期	前年同期比	
			増減	増減率
売上高	5,134	5,362	+227	4.4%
営業利益	622	447	△175	△28.2%
経常利益	729	463	△265	△36.5%
四半期純利益	416	271	△144	△34.8%

② 建設技術者派遣事業

(百万円)

	2015年9月期 第1四半期	2016年9月期 第1四半期	前年同期比	
			増減	増減率
売上高	3,391	4,025	+633	18.7%
営業利益	644	386	△257	△40.0%
期末技術者数	2,311 人	2,908 人	+597 人	25.8%
期中平均技術者数	2,300 人	2,859 人	+559 人	24.3%

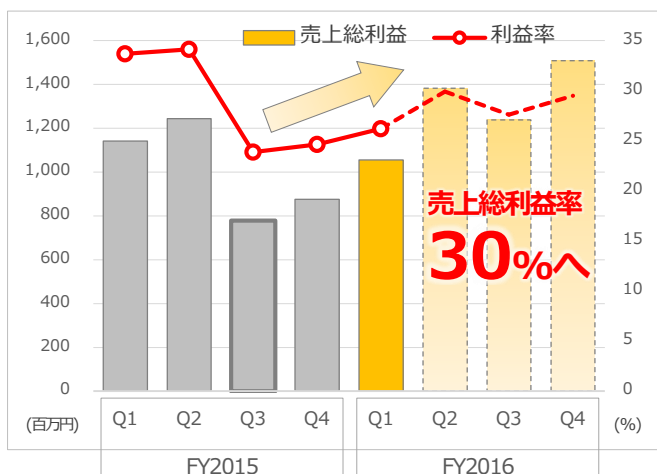
3. サマリー

① 売上高

積極採用による稼働人数の増加により建築技術者派遣事業が 18%増収、エンジニア派遣事業も 20%の増収となりました。連結売上高では、前期に保育、介護および総合建設事業あわせて 638 百万円を計上していたため、4%の増収と限定的となりました。

② 営業利益

建築技術者派遣事業にて、前第 3 四半期に期間を限定した低単価戦略を実施したことによる売上総利益率の低下に加え、販売費及び一般管理費では、採用コストの増加および本社移転による地代家賃の上昇などにより 40%の減益となりました。その結果、連結営業利益でも 28%の減益となっております。



～第 2 四半期以降について～
 前第 3 四半期の低単価戦略により、売上総利益率が大幅に低下しましたが、派遣単価の改善が進み回復基調が鮮明に。売上総利益率 30%への早期回復を目指し、派遣単価は正に尽力いたします。
 また採用に関しましては、目標である 2,000 人に向け、1 月・2 月と順調に推移しております。

以 上